

教育目標：「知性を磨き 心を見つめ チャレンジする生徒」



『挨拶を交わし 場を清め 時を守る』

校長 下地 秀隆

令和8年度九州中学校陸上競技大会出場比嘉琉亜(3年生)

◆夏休みに九州各県で開催された九州中学校体育大会に、本校から陸上競技走り高跳びに「比嘉琉亜さん(3年生)」が出場しました。台風の影響で自己ベストには届かなかったが、他県の選手たちと交流を図り、沢山の経験をしました◆また、空手道個人組手では県大会1・2位は伊良波中学校の「金城清太(3年生)、金城匠海(3年生)」さんが出場し、初戦敗退という結果でした◆また、県代表として挑んだ全国大会では、全国の強豪相手に僅差で惜敗しました。2人とも県代表として、堂々と戦ってくれました。伊良波中学校の名を全国にとどろかせてくれたダブル「金城」さんに「あっぱれ」◆本校から、九州・全国大会に3名参加したことを誇りに思い、今後の活躍を期待したいと思います。本当にお疲れさまでした◆ありがとう◆引率してくれた、「宮城英賀先生、當銘愛未先生」にも感謝しています。引率ありがとうございました◆感謝◆

◆自分だけで競技に出ているわけではないし、周りの人たちの力があってできているから、対戦相手や周り人に感謝やリスペクトを持ち、競技できる選手になりたい◆また、学校生活でも人の失敗を笑わず、困っている人を助けたり、一緒に考えたりできる立場になりたい◆自分がこの大会で頑張ったこととしては、色んな学校やチームの選手と交流を深め、皆をつなぐことで、良い意見交換ができるようにした。これは、周りの先生から褒められたことであり、自分もその大切さを実感したため、これからも続けていきたいと思いました◆心より感謝申し上げます◆比嘉琉亜(3年)



◆金城清太(3年生)◆県外の選手は、体格が大きい人が多かった。自分が対戦した相手とは、最初、距離感が合わず互いに点が取れなかったが、しかけを早くして先取することができた◆しかし、先取したあと、守りに入ってしまうと逆転されてしまった◆先取をされても、冷静さを保つ試合をするなかで、距離感をつかんで自分の流れに持っていくのが上手だなと感じた◆また、体格の大きな人との戦い方を学べたので、今後に生かしたい◆



◆金城匠海(3年生)◆九州大会では、皆との技術は変わらないが、気持ちやスピード等の戦い方に差があると感じました◆また、技の出し方が上手だなと思いました◆練習でやったことが、出ると感じた◆全国大会では、自分に足りないところが多く見つかったので、そこを課題としてこれからの練習に励んで行きたいです◆また、技の一つ一つのスピードと出し方が自分と違って、その部分に差があったと思った◆高校に向けて、他の課題も取り組んでいきたいです◆